

第2回日本宇宙放射線研究会セミナー

博士課程リーディングプログラム

群馬大学重粒子線医理工学グローバルリーダー養成プログラム

第1回重粒子線医理工連携セミナー

申込不要
参加自由

日時

2019年4月9日（火） 10:30 – 12:00

会場

群馬大学重粒子線医学センター
カンファレンス室

内容

俯瞰力を養い、視野を広げ、発想力のアップをめざす。

重粒子線の免疫応答研究

武島 嗣英 先生 (QST放射線医学総合研究所)

近年の研究で、放射線治療後には腫瘍に対する免疫が誘導して、腫瘍の治癒に大きく関わることがわかってきた。重粒子線治療後にも抗腫瘍免疫がはたらくと思われるが、これまでの報告例は少ない。本講演では、重粒子線を含めた放射線治療についての免疫学研究を概説するとともに、最新のデータを紹介する。



生命現象の Direct Visualization

阪上-沢野 朝子 先生 (理研・脳神経科学研究センター)

生命現象を時空間的に可視化する蛍光プローブの開発を進め、種々の仮説の検証を目指しています。高橋先生が推進する「宇宙マウス実験」に「発光イメージングシステムのデザインおよび発光型 Fucci プローブの開発の実践」で参画します。ISS「きぼう」において、生命現象可視化 (On-site direct visualization) を実現し、近宇宙空間で暮らすべきヒトの生命恒常性を理解するための技術革新へとつなげていきます。



後援

問合せ先



日本宇宙放射線研究会

The Japanese Association of Space Radiation Research (JASRR)

高橋 昭久 (Email; a-takahashi@gunma-u.ac.jp)

群馬大学重粒子線医学研究センター

群馬県前橋市昭和町3-39-22 027-220-7917